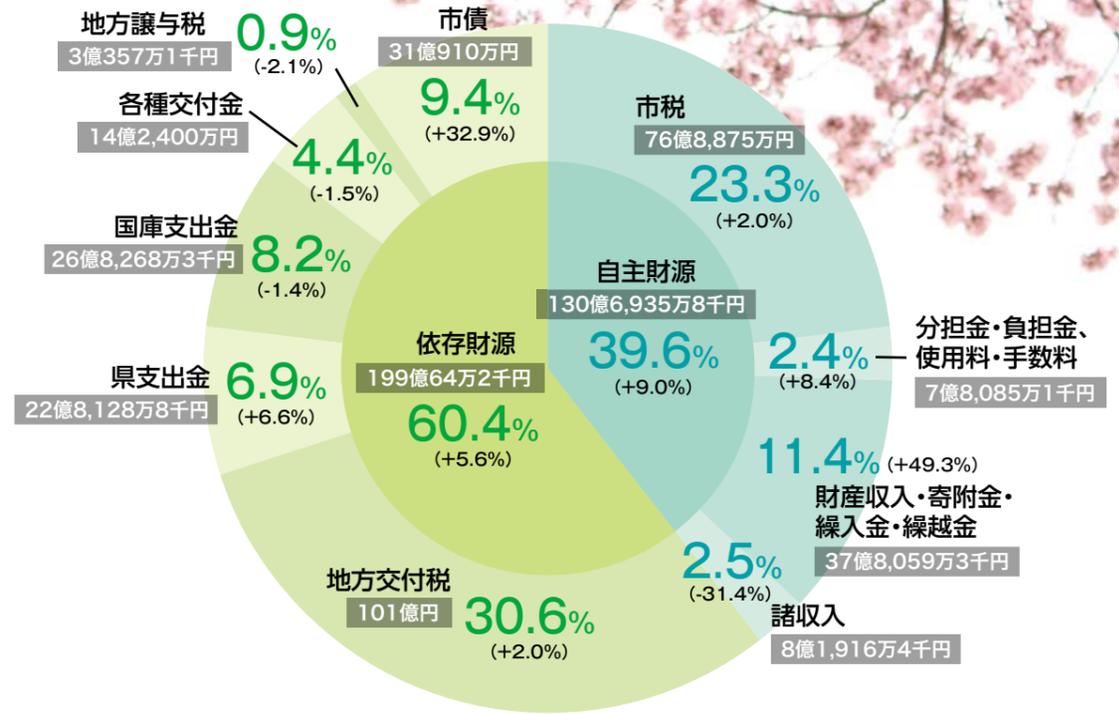


平成31年度 三豊市の予算

一般会計は
対前年度比6.9%増の
329億7,000万円

歳入



※()は前年度予算額との比較です

「攻め」の施策を重視した予算編成

第2次総合計画のスタートとなる平成31年度の予算は、少子高齢化の進展・人口減少という社会的な構造変化に対応しつつ、未来へ向けた投資を確実に進めるため、真に必要な緊急性の高い実現可能な事務事業について予算化しました。

特に、普通交付税の合併特例措置の打ち切りや合併特例債の延長を踏まえ、平成31年度からの5年間を対象期間として策定した財政収支計画に沿って、厳格な予算総額管理を行うなど財政健全化に向けて取り組みつつ、将来に向けた第2次総合計画の重点プロジェクト、つまり「攻め」の施策への配分を重視した編成を行いました。

【歳入】

市債は31億910万円

【歳出】

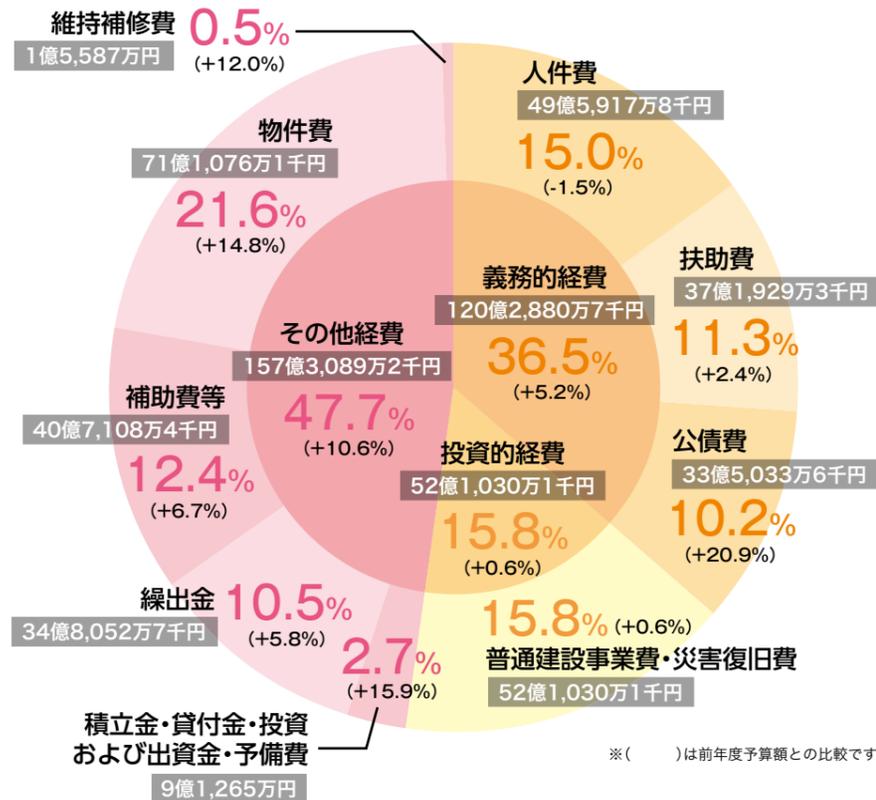
山本地区就学前施設の整備

歳出予算のうち義務的経費では、人件費は49億5,917万8千円(前年度比▲1.5%)、公債費は33億5,033万6千円(前年度比+20.9%)を計上しています。また、扶助費については37億1,929万3千円(前年度比+2.4%)で、児童扶養手当支給事業費や母子保健事業費の増額などにより前年度比増となったことから、義務的経費全体が前年度比増となっています。

その他の経費では、主なものとして物件費で子どもたちの学力や情報活用能力向上のための学習ICT整備などにより増額が見込まれ、補助費等では永康病院の建て替えに伴う病院会計繰出金などの増額が見込まれています。

▼問い合わせ
財政経営課 ☎73・3010

歳出



※()は前年度予算額との比較です

投資的経費は52億1,030万1千円(前年度比+0.6%)で、主な実施事業は、山本地区就学前施設建設事業(新設統合幼稚園)などです。

用語解説

歳入

自主財源：
市が自主的に収入できる財源(市税、使用料、財産収入など)

依存財源：
国や県から交付されたり、割り当てられたりする財源(地方交付税、県支出金、国庫支出金など)

歳出

義務的経費：
その支出が義務づけられ、任意に節約ができない経費(人件費、扶助費、公債費)

投資的経費：
道路や施設などの整備に使う経費(普通建設事業費・災害復旧費)

その他経費：
上記以外の経費(物件費、補助費等、積立金など)

特別会計

単位:千円

会計名	平成31年度当初予算額	平成30年度当初予算額
国民健康保険事業特別会計	8,213,000	7,927,000
国民健康保険診療所事業特別会計	153,000	157,000
後期高齢者医療事業特別会計	994,000	999,000
介護保険事業特別会計	8,060,000	7,827,000
介護サービス事業特別会計	97,000	94,000
集落排水事業特別会計	192,000	189,000
浄化槽整備推進事業特別会計	223,000	230,000
港湾整備事業特別会計	22,000	20,000
合計	17,954,000	17,443,000

企業会計

単位:千円

会計名	平成31年度当初予算額	平成30年度当初予算額
病院事業会計 「永康病院・西香川病院」	2,168,977	1,820,792